

モニタリング結果報告書 (平成28年度)

1. 施設概要

施設名	三浦ふれあいの村		
所在地	三浦市初声町和田3136番地		
サイトURL	http://www.yokohamaymca.org/fureai/index.html		
根拠条例	神奈川県立のふれあいの村条例		
設置目的(設置時期)	児童、生徒、青少年等が自然の中での体験及び人との交流を通じて自立心、協調性等をはぐくむための活動を促進すること (平成7年4月)		
指定管理者名	公益財団法人 横浜YMCA		
指定期間	H23. 4. 1～H30. 3. 31	施設所管課	子ども教育支援課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>「利用状況」がB評価、「利用者の満足度」がS評価、「収支状況」がS評価となり、3項目評価の結果はAとなった。</p> <p>管理運営等の状況、労働環境の確保に係る取組状況等に特段の問題は無く、一般的に極めて良好な管理運営がなされている。</p> <p>「利用状況」については、やまびこ棟工事の影響もあり、目標対比で5.9%のマイナスとなった。</p> <p>指定管理は平成29年度で終了となるが、施設の機能を活かし、利用者が自然にふれあう体験活動を実施できるよう事業を継続するとともに、利用者の拡大に努めてもらいたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 施設・設備の維持管理を適切に実施するとともに、主催事業・自主事業を計画どおり実施し、参加者から好評を得た。</p> <p>◆利用状況 やまびこ棟工事の影響もあり、目標対比で 5.9%のマイナスとなったため、B評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 利用者が施設を利用する都度、調査を実施したところ、上位2段階の回答割合が 98.8%となったため、S評価となった。回収率は前年度(74.6%)に比べ改善(79.2%)されているが、引き続き利用者への呼びかけを積極的に行うよう指導した。</p> <p>◆収支状況 やまびこ棟工事の影響もあり施設利用者は減少したが、その他の経費については運営努力により支出を抑えた結果、収支差額が 11,657千円となったため、S評価となった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なお、平成28年度の3項目評価についてはA評価とした。</p>	
3項目評価	<p>S : 極めて良好 A : 良好 B : 一部改善が必要 C : 抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	随時	なし
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容
		なし

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>(施設の設定目的をふまえた運営) 設置目的である自然の中での体験及び人との交流を通して自立心、協調性等を育むふれあい活動を推進する。また海というフィールドを使い、海との共生を図り、三浦でしか体験できない活動を更に進めふれあい教育の推進に努める。</p>	<p>グループワークレクリエーションプログラムを継続して提供した。リピートして実施される学校が多かった。(16団体2,492名)実施後のクラス運営への良い影響があると評価されている。継続している出前授業では実際の野外炊事用具、カヤックを持参してより具体的な事前学習を提供した。(9校開催)カヤック指導もやまびこ棟が半期閉鎖であったが多くの参加者があった。(5,675名)</p>	
<p>(防災への取り組み) 海浜に位置する三浦ふれあいの村だからこそ実施できるものとして防災ウォークラリーを提供する。自らの命を自らで守ること、災害時は率先避難者たれというメッセージを伝える。そして新しい防災プログラムとして災害時図上訓練の提供を開始する。</p>	<p>防災ウォークラリーを9校が実施した。新たな防災プログラムとしてD I G (災害図上訓練、7団体)を始めた。合計で約1,000名が参加した。</p>	
<p>(地域との連携) 高齢化率の高い三浦市、横須賀市の市民に向けて高齢者を主なる対象とした三浦市民健康大学オープンキャンパスを開催する。地域避難訓練を通じた地域との関係作りを活かし、地域イベントへ協力する。農家の方たちとの地域清掃に参加・協力する。</p>	<p>三浦市市立病院、県保健福祉大学、三浦市社協、地域デイサービスと共同で市民健康大学を開催し、約200名の参加があった。今年度の地域避難所である平塚農業高校初声分校の避難所運営委員会にも参加し地域防災訓練にも参加した。地域の夏祭りへの協力を行った。農家の方たちとの地域清掃に参加した。</p>	
<p>(広報) 3村合同の利用案内、県広報誌を利用して県民全体への周知を行う。主催事業等に関してはホームページやパブリシティを積極的に活用し、広く県民に周知を行う。</p>	<p>出前授業で訪問した際に実際の宿泊可能人数は定員を超えての利用ができないかという学校の要望があったが、消防法上の関係でしおさい棟では受けることができないことを伝えた。 11月からのリニューアル工事の周知としおさい棟のみの運営を来村の学校(利用者説明会等の場)とホームページ上で周知した。100名以上の学校にはリニューアル後の利用について周知した。主催事業に関しては新聞を中心に数件掲載された。</p>	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
ふれあいマリンクラブの開催 地域の児童を対象に海を通して命の大切さ、他者への理解、自然の保護を伝える活動を行う。	クラブ員33名・ジュニアリーダー6名・ボランティア8名・職員2名で月1回の活動を行った。
ちゃんちゃんクラブの開催 大人の居場所作りとしてボランティアワークを中心とした活動を通年で実施する。	年4回の活動に延べ27名が参加した。施設内の破損箇所の修繕、新たな看板作り、施設周辺のハイキング等を年間を通して行った。
ウィークエンドファミリープログラム 三浦半島の自然や海の楽しみ方を伝える、家族単位で参加できるプログラムを実施する。家族内や家族間の関係を深めることを目的とする。	年間を通して実施することで、毎回申し込む家族が増えてきている。マリンプログラムや、イチゴ収穫プログラムは非常に多くの申込みがあり、閑散期の集客になった。485名の家族が参加した。
休耕田の活性化プログラム 三浦半島の里山を利用し、近隣の休耕田を使い田植えから収穫、食するまでのプログラムを行う。穀物の命に我々人間は支えられていることを体感する。	30名の参加者で約半年間で田植えから収穫までを行った。米を育てることで、自然の厳しさを感じながら昔の生態系が蘇る田んぼづくりを行った。収穫の喜びを体験した。
ふれあいCUP ふれあいCUPサッカー大会の名前で三浦半島エリアを中心に8歳以下の低学年を対象としたサッカー大会を行い、チームの親睦を計る。冬季の利用者増を図るプログラムとする。	大会に出場する機会の少ない8歳以下の子どもたちを対象に開催した。8チーム181名の子どもたちが参加し総当たりのリーグ戦で熱戦を展開した。今年で3回目で楽しみにしているチームもあり、定着してきた。
エンジョイワカメ 食育プログラムの海上版としてわかめの種付けから収穫、食するまでのプログラムを行う。自然環境の変化の有り様や、育ったわかめを食することで豊かな自然を体感する。	わかめの種付けと収穫を近隣の漁師の方の協力で行った。11月に苗を植え、2月に収穫した。普段は目にすることの出来ないわかめの成長を知ることができた。収穫後食し、海の恵みを体感した。また発育の状況が悪く、海の温暖化を実際に目で感じた。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
B	

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	84,422	103,608	75,283
対前年度比		122.7%	72.7%
目標値	85,000	86,000	80,000
目標達成率	99.3%	120.5%	94.1%

目標値の設定根拠： やまびこ棟が11月より工事により閉鎖するが、家族利用の増が見込まれるため、100名以内の団体の利用で利用者数の減少を▲7%程度に抑える。

利用者数の算出方法（対象）： 利用申込書に記載された人数の合計（利用者）

[参考：最大利用可能人数／年]

	4～10月	11～3月				合計
定員	433	100				
年間利用可能日数	184	171				
最大人数※	79,672	17,100	0	0	0	96,772
稼働率	31.9	20.6	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状態等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	利用者が施設を利用する都度、アンケート用紙を利用者に配布し、調査する	サービスの向上に努めた結果、上位2段階の割合が98.8%という高い評価を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 全体的な印象はいかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 695 / 877 = 79.2%

配布(サンプル)対象 利用者

	満足	どちらか といえば 満足	普通	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	259	365		8	0	632	
回答率	41.0%	57.8%		1.3%			
前年度の回答数	242	409	63	2	0	716	
前年度回答率	33.8%	57.1%	8.8%	0.3%			
回答率の 対前年度比	121.2%	101.1%		453.2%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 スタッフの対応についてはいかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 695 / 877 = 79.2%

配布(サンプル)対象 利用者

	満足	どちらか といえば 満足	普通	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合 的評価の回答数	387	242		6	0	635	
回答率	60.9%	38.1%		0.9%			
前年度の 回答数	390	274	47	1	0	712	
前年度回答率	54.8%	38.5%	6.6%	0.1%			
回答率の 対前年度比	111.3%	99.0%		672.8%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

7. 収支状況

評価	<評価の目安> 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%~105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%~100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々 年度	当初 予算	146,451	2,416			148,867	148,867	0	100.00%
	決算	146,451	2,409			148,860	145,914	2,946	102.02%
前 年度	当初 予算	148,209	2,450			150,659	150,659	0	100.00%
	決算	148,209	2,613			150,822	147,323	3,499	102.38%
28 年度	当初 予算	148,209	2,450			150,659	150,659	0	100.00%
	決算	142,297	2,050			144,347	132,390	11,957	109.03%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

28年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
H28.11~H29.3	116,990,000	やまびこ棟 改修工事(116,990千円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 1,000千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額 (千円)	内 容 (金額 (千円))
収 入		
支 出		
積 立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	2 件	職員により言うことが違う。	職員間での共通理解を徹底する。 入村時オリエンテーション時、炊事の時に再度説明するようにした。
	1 件	野外炊事の説明をもっと丁寧にしたい。	
事業内容	1 件	ウォークラリーのコースが変わっている。	新コースの地図に変更する。ネット申込は丁寧に説明し、ご了解いただいた。
	2 件	インターネットでの申し込み、書類提出を希望する。	
その他	1 件	前の団体が時間を過ぎて使用していた。	時間の厳守を徹底した。
	7 件	その場で一品料理を買えるようにしたい。	当日一品システム (有料) を開始した。

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況 (内容及び実施日を記入) ③その後の経過 (現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等) ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無 (有の場合は概要を記入) ⑤原因及び費用負担の有無 (費用負担が有の場合は内容および負担者を記入) ⑥記者発表の有無 (有の場合はその年月日を記入)
	① 該当なし ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査 (包括外部監査含む) 又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。